

# 1-8

## 記録システム導入の手引き

記録で人員不足を解消！？

記録業務の効率化

寄り添う時間の確保

特別養護老人ホーム 第二光陽苑

介護士 染谷 次郎

東京都練馬区関町北 5-7-22

TEL : 03-5991-9917

E-mail : dai2kouyouen@mx5.ttcn.ne.jp

FAX : 03-5991-9918

URL : <http://www.timelyhit.ne>

今回の発表の施設  
またはサービスの  
概要

社会福祉法人泉陽会が母体である。第二光陽苑は平成 11 年 4 月に 80 床の特養・ショート 30 床、その他、通所・訪問介護、在宅支援センター、訪問看護と福祉、医療、保健の総機関を目指し開設。利用者の方々の豊かな生き方を尊重している。

### 〈取り組んだ課題〉

- 記録システム導入により記録の不備・記載漏れなど記録に関する問題点を改善する
- 記録システムにより業務の効率化を目指し、人員不足の解消を図る
- 想定される混乱を軽減する
- 業務の効率化を行い寄り添う時間を確保する

### 〈具体的な取り組み〉

- 記録システム導入に向けての 6 ヶ月の準備期間
- 現状の問題点の抽出
- 問題点の解決案
- 解決案である記録システムの提案
- 提案された記録システムの検討
- 導入に向けてのハード面での問題点 (LAN 工事)
- 職員への記録に関するアンケート
- アンケートから見えてくる職員の記録に関する思いとは？
- 他の施設への見学 (そこから見えてくる問題点と対応策)
- 記録システム導入の決定
- 職員対象のシステムの説明会と操作説明会 (操作が苦手な職員はできるまで)
- 2 ユニットへの先行導入
- 導入後の問題点
- 導入後の職員意識は？
- 全ユニット導入に向けて

### 〈活動の成果と評価〉

- 職員同士・システム会社を含めてフォローをし合いパソコンに対する不安の軽減
- 職員同士の助け合い・協力・団結力の強化
- 書類整理の簡略化。それに伴うスペース作り
- データを抽出することでデータ管理が容易になり会議の際にも使用ができる
- 記録時間の短縮

### 〈今後の課題〉

- 記録システム導入による混乱の軽減 (業務量を減らすことはできるのか?)
- 経過観察 (貪欲に業務量減少を目指す)
- システムの有効活用
- 全ユニット導入後の問題点と解決案
- 短縮できた時間はどこに使われるのか? (記録システムは人員不足の解決案になるのか?)
- 寄り添う時間の確保を目指して

### 〈まとめ〉

- 記録システム導入は困難か?
- 今回の取り組みの成功点・失敗点
- 記録システム導入の成功とは?

【メモ欄】